

インフォメーションシステム事業の ねらいと展望



伏見信也*



中川路哲男**

Scope and Vision of Mitsubishi Electric Group's Information Systems and Network Services

Shinya Fushimi, Tetsuo Nakakawaji

要 旨

三菱電機は、「快適・安心・発展 “DiamondSolution^(注1)”」をスローガンに掲げて、製品やサービスを提供している⁽¹⁾⁽²⁾⁽³⁾。

快適・安心・発展は、ITの活用面からの次の3つの取り組みに対応している。

- 快適 Realtime Management
- 安心 Risk Management
- 発展 Resource Management

(1) Realtime Management

ITを用いて、処理の即時化を進め、現在の業務状況を明らかにして経営の見える化を行うことによって、業務の効率化を図るための取り組み

(2) Risk Management

ITを用いて、セキュリティ事故、品質問題、コンプライアンス違反、災害などの事業上のリスクを識別し、適切な対応を図るための取り組み

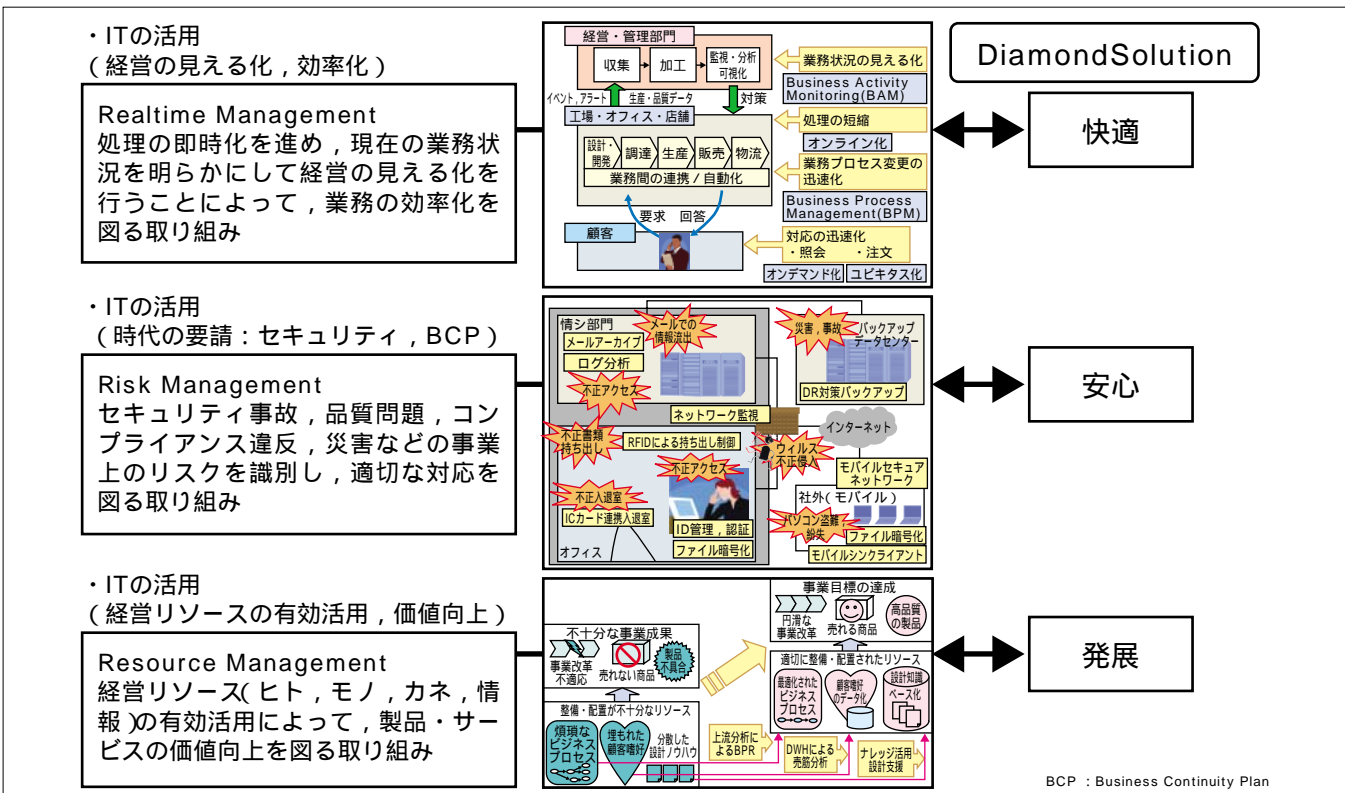
(注1) DiamondSolutionは、三菱電機株の登録商標である。

(3) Resource Management

ITを用いて、経営リソース(ヒト、モノ、カネ、情報)を有効活用することによって、製品・サービスの価値向上を図るための取り組み

これらの取り組みの具体例として、本特集号で紹介されている、リアルタイムの情報提供を可能とするネットワーク運用管理ポータルサイト、紙文書漏洩(ろうえい)リスクに対応した文書持ち出し監視システム、コンテンツをリソースとして活用する企業ウェブサイト構築・運用ソリューションがある。

将来に向けた上記3つのIT活用の取り組みとして、製造業での更なるデータの活用と連携、当社が2007年に発表したトータルセキュリティソリューション“DIGUARD(ディガード)”⁽⁴⁾の強化、グリーンITのための技術強化などがある。



快適・安心・発展の3つの技術面の取り組み

DiamondSolutionで掲げる“快適”“安心”“発展”は、それぞれ、ITの活用面からの3つの取り組み、Realtime Management, Risk Management, Resource Managementに対応している。